

確認済

(別添資料1)

事業所名

まいる一む放課後こども教室 貝塚校

支援プログラム

作成日

2024年

10月

18日

法人（事業所）理念		「療育の世界に新しい道を」 すべての人々が分け隔てなく成長し、心身ともに「健康」をはぐくむ環境を創る								
支援方針		SSTを中心に<創作> <運動あそび> <体験活動>などにより、コミュニケーションに重要な「自己発信」「周囲の情報の受信」のスキル獲得への支援を行う。 上記のスキルを活かし、自立に向けての活動に取り組む。何でも自分でできることを目指すのではなく、『適切に頼る』『ヘルプを出す』スキルを身に付け、社会で自分のポテンシャルを発揮できるような基盤づくりを行う。								
営業時間		平日	10時	0分	から	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
		土・祝日	10時	0分	から	16時	0分			
支援内容										
本人支援	健康・生活	健康な生活習慣の促進、日常動作の正確な自立を促す。 ・心身の状態の把握。 ・SSTや日常場面での生活動作訓練、社会的訓練(トイレトレーニングや整容、整理整頓など)。								
	運動・感覚	運動の機会を提供し、体力及びバランス感覚などの身体機能の向上を目指す。 ・楽しみながら運動に参加する。 ・正しい姿勢の保持、確認を行う。 ・手先の巧緻性を高める。 ・全身の運動や協調運動の実施。 ・ビジョントレーニングの実施。								
	認知・行動	発達段階に応じた学習の支援、認知の偏りへの対策と状況に応じた対応力を養う。 ・タイムテーブルによる視覚支援と時間感覚の認知。 ・小集団における適切な行動形成。 ・周囲の状況変化やスケジュールの変更の認知と対応。								
	言語コミュニケーション	適切なコミュニケーション能力の獲得と、社会生活における他者との関係値の向上を活動プログラムを通して行う。 ・はじめの会、終わりの会での発表や活動中の道具のやり取りによる言語表出と受容。 ・言語表出及び需要が難しい場合は絵カードや模倣による実践。 ・他者との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得。								
	人間関係社会性	ルールに合わせた行動、イレギュラーや相手のNOを受け入れられる適応力を養う。 ・アタッチメント形成。 ・一人遊びや少人数での遊びから連合的な遊びへと移行を促しながら、社会性の発達を支援。								
家族支援		家族が抱える悩みや課題を共有してもらい、解決方法を模索する。 行政、医療、教育など関係機関と連携してサポートを行う。 状況に応じて臨機のモニタリングやヒアリングなどを実施する。				移行支援		進学先や就労先でより適切なサポートの中で 本人のパフォーマンスが発揮できるよう連携する。		
地域支援・地域連携		行政、教育機関、障がい福祉サービス事業所と連携し、 地域イベントへの参加や、社会貢献活動を実施する。				職員の質の向上		虐待防止、強度行動障害、その他資格や療育スキル研修。 社内での新人研修や行政主体の研修への参加。		
主な行事等		季節ごとのイベントや、社内の他施設との合同イベント、保護者参加型イベントの実施。 保護者向けの講演会や保護者面談の実施。								